

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-524110(P2009-524110A)

【公表日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-551287(P2008-551287)

【国際特許分類】

G 03 F 7/11 (2006.01)

G 03 F 7/039 (2006.01)

G 03 F 7/004 (2006.01)

G 03 F 7/00 (2006.01)

G 03 F 7/32 (2006.01)

【F I】

G 03 F 7/11 501

G 03 F 7/039

G 03 F 7/004 505

G 03 F 7/00 503

G 03 F 7/32

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱画像形成後にアルカリ性現像剤で現像可能であり、そして輻射線吸収化合物、及び順番に：

第1高分子バインダーを含む内層、及び

前記第1高分子バインダーとは異なる、ポリマー主鎖と前記ポリマー主鎖に結合された-X-C(=T)-NR-S(=O)₂-部分(式中、-X-はオキシ又は-NR'-基であり、TはO又はSであり、R及びR'は独立して、水素、ハロ、又は炭素原子数1~6のアルキル基である)とを含む第2高分子バインダーを含むインク受容性外層を有して成る基板

を含んで成る、ポジ型画像形成性要素。

【請求項2】

Rが水素であり、TがO(オキソ)であり、そしてXがオキシ又は-NH-基である請求項1に記載の要素。

【請求項3】

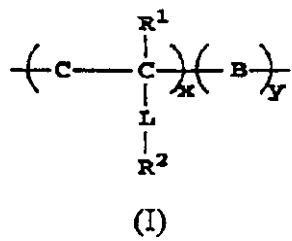
前記第2高分子バインダーが、前記外層内に、前記外層の総乾燥重量を基準として10~100重量%の乾燥被覆量で存在し、そして1種又は2種以上のエチレン系不飽和型重合性モノマーから誘導された反復単位を含むアクリル樹脂であり、該モノマーのうちの少なくとも1種が前記-X-C(=T)-NR-S(=O)₂-部分を含む請求項1又は2に記載の要素。

【請求項4】

前記第2高分子バインダーが、下記構造(I)によって表される請求項3に記載の要素

：

【化1】



(上記式中、

R^1 は、水素、炭素原子数1～6のアルキル基、又はハロ基であり、
 R^2 は、-X-C(=T)-NR-S(=O)₂- R^3 を表し、
 R^3 は、炭素原子を介して-S(=O)₂-に結合された脂肪族基又はアリール基であり、
Lは、直接的な結合又は連結基であり、
Bは、 R^2 基を含有しない1種又は2種以上のエチレン系不飽和型重合性モノマーから
誘導された反復単位を表し、
xは20～85重量%であり、そして
yは15～80重量%である)。

【請求項5】

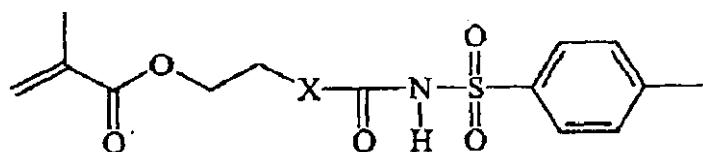
R^1 が、水素、メチル基、又はクロロであり、
 R^3 が、炭素原子数1～12のアルキル基、環内炭素原子数5～10のシクロアルキレン基、環内炭素原子数6～10のアリール基、若しくは複素環式基、又は一緒になって直接的に連結されるか、若しくはオキシ、カルボニル、アミド、又はチオ基と一緒にになって連結されるこれらの任意の組み合わせであり、
TはOであり、
Lは、-C(O)O-アルキレン、-C(O)O-アルキレン-フェニレン-、又は-C(O)O-フェニレン基であって、アルキレンの炭素原子数は1～4であり、
xは25～75重量%であり、そして
yは25～75重量%である、

請求項4に記載の要素。

【請求項6】

x が30～70重量%であり、そして前記 R^2 基を含む反復単位が、下記エチレン系不飽和型重合性モノマーA-1～A-6のうちの1種又は2種以上から誘導される請求項4又は5に記載の要素。

【化2】

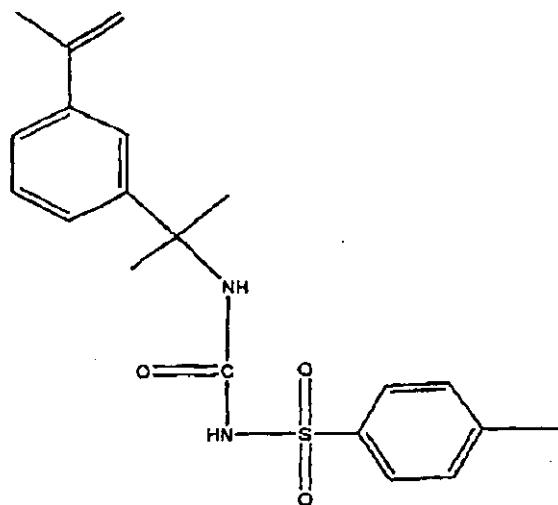


(A-1)

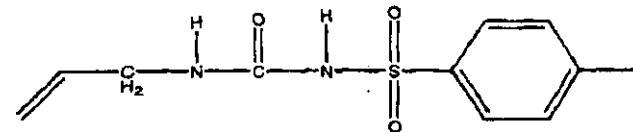
(上記式中、Xは上に定義した通りである)

【化3】

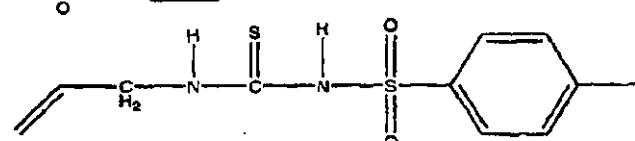
(A-2)



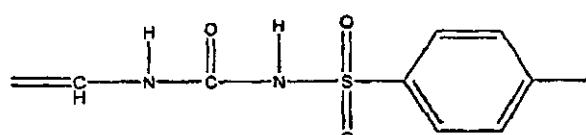
(A-3)



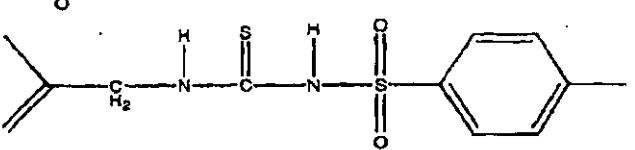
(A-4)



(A-5)



(A-6)



【請求項7】

A) 請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のポジ型画像形成性要素を熱画像形成させ、これにより画像形成された領域と非画像形成領域とを有する画像形成された要素を形成すること、

B) 前記画像形成された領域だけを除去するために、前記画像形成された要素とアルカリ性現像剤とを接触させること、そして

C) 任意選択的に、前記画像形成され、現像された要素をベーキングすることを含んで成る画像形成方法。

【請求項 8】

前記現像剤が、チオ硫酸塩、又は少なくとも 1 つのN-水素原子と、ヒドロキシ若しくは酸性基又はポリエチレンオキシド鎖で置換されたアルキル基とを有するアミノ化合物を含む請求項 7 に記載の方法。